



今月の記事

新年度の愛の園

近ごろの愛の園

合格しました

利用料金改定

リレーエッセイ

4～5月の予定



2018年度が始まりました

4月1日のイースター礼拝に続き、2日に全体職員会を開催して2018年度がスタートしました。全体職員会では、新入職員と各事業・部署の今年度計画が紹介された他、宮崎靖子理事長による講話がありました。

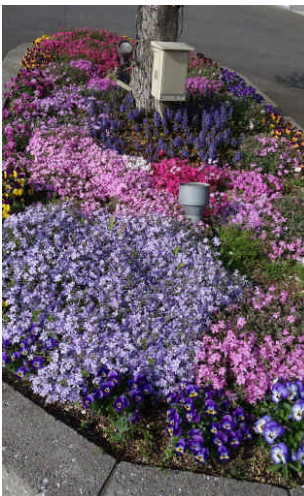
講話の中で宮崎理事長は、「キリストの愛を以って互いに仕える」という神愛会の理念を理解するためにと、愛の園を生み出した神愛修女会の歩みを紹介しました。

結核療養所で患者たちの治療に献身するため群馬県・榛名山麓に誕生した神愛修女会が、縁あって和歌山に支部を開設した。岩田幼稚園を開園した後、和歌山県からの要請によって社会福祉法人を設立し特別養護老人ホーム愛の園を建設するまでには幾多の困難があった。十分な資金がなく無謀な計画と言われながらも、地域の方々の絶大な支援と教会関係者の祈りと献金に支えられた。そして何より8人の修女たちが「塩とお粥しか食べられなくなる生活」を覚

悟して計画の実現のため働き、土地の確保、建物の建設、法人認可などに力を尽くし、開園後は理事長・園長、看護職員、生活相談員、機能訓練員などとして現場に立ち、「キリストの愛を以って互いに仕える」日々を実践した、と振り返りました。

今の私たちにも高齢者福祉を取り巻く環境や制度の変化、働き人の確保の困難さなどさまざまな課題がありますが、この理念のもとに、修女たちの思いと行動を引き継ぎながら課題に向き合い、入居者・利用者の皆さん一人ひとりの幸福のためそれぞれの役割に「丁寧」に励んでいくようにと心を新たにしました。

宮崎理事長は最後に、「あなたの先に進むのは主であり、あなたのしんがりを守るのもあなたの神である」という聖書の一節を紹介し、「愛の園の先に進むのは主であり、愛の園のしんがりを守るのもあなたの神である」と覚えて共に頑張りましょうと講話を結びました。



シンボルツリーの下にボランティアさんが丹精して育てた春の花々が咲き競っています。利用者や来園する方々に明るい笑顔が生まれます！

近ごろの愛の園 あんなこと、こんなこと



いつもより早い春の訪れで愛の園の周辺は3月中にソメイヨシノが満開になり、2日間に亘ってお花見に出かけました。1日目の彦五郎公園はちょうど満開でユキヤナギ、レンギョウも残っていてきれいでした。2日目の動鳴気峡は少し散り始めていましたがその分人出も少なくゆっくり楽しむことができました。3/28-29



恒例のイースターエッグの準備です。入居者、ボランティアの皆さんにカードを添えて袋詰めしていただいた160個を1日の礼拝後にお配りしました。3/31



大正琴すずらん教室の皆さんが演奏を披露してくださいました。演奏に合わせ歌ったり、楽器の音色を紹介していただいたり、とても豊かな時間でした。4/1



合格しました！ 介護職員 瀬見紋加



今年1月の試験に合格して介護福祉士の資格を取得することができました。今回の合格点は77点と過去最高の点数だったのですが、何とか合格できてよかったです。

この資格取得のために、友達と勉強に行ったり、Big-uに行って勉強したり、家で勉強したりと地道に頑張ってきました。

弟も作業療法士の国家試験に合格し、二人揃って合格できて本当によかったです。

介護福祉士になり、また正規職員になったからには、長い年月生きてきた人生の先輩である入居者の皆さんが、「このユニットでよかった」と思っていただけのように、今まで以上に入居者の皆さんに寄り添った介護、丁寧な介護、責任を持った介護を心掛けたいと思います。よろしくお願いします。

料金が改定されます

4月1日より介護報酬が改定され利用料金も変更されています。「基本サービス費」の1日あたりの単価が要介護1の11円から要介護5の16円まで、介護度ごとにそれぞれ増額になっています。愛の園でこれまで算定している「夜勤職員配置加算」は1日あたり3円の増額、「看取り介護加算」では看取り当日の加算が300円の増額となります。また要件を満たす場合に算定される「配置医師緊急時対応加算」、「排せつ支援加算」、「褥瘡マネジメント加算」、「低栄養リスク改善加算」、「再入所時栄養連携加算」が新設されています。

ご入居者・ご家族の皆様には別にお知らせいたしますのでご確認ください。ご不明な点やご質問などがありましたら担当職員にお申し出くださいますようお願いいたします。

リレーエッセイ(65) 「ミジンベニハゼ」

事務職員 川西江美子



暖かい時期になると年に数回ですがスキューバダイビングにいきます。主に串本や田辺など近場の海でダイビングをしています。ダイビングに行くと、心身共にとてもリフレッシュできます。

沖縄ほどではないです

が、串本や田辺でも水が澄んでいれば、海の中はとてもきれいでたくさんの魚を見ることができます。

その中で私の好きな魚はミジンベニハゼというとても鮮やかな黄色で、全長3cmほどの小さな魚です。ミジンベニハゼは東京あたりから南の太平洋側などに分布していて、和歌山では串本の大島と日高で確認されています。

水深10メートルから20メートルくらいの砂地で、空き瓶や貝殻をすみかにしています。

また、ミジンベニハゼは他のハゼの仲間とは違い、雌雄のペアで生活し、瓶や貝殻の中で子育てをします。今年ももう少し暖かくなれば、ミジンベニハゼのペアを見に行きたいと思っています。

次は設備室の小倉直樹さんです。



「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

Facebookもチェック 

<https://www.facebook.com/shinaiikai>

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

4～5月の愛の園

- 10(火) マリア会
- 12(木) やまびこ会
- 15(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 16(月) ヨガ教室 マッサージ
- 19(木) やまびこ会
- 20(金) 福祉ネイル
- 22(日) 礼拝(聖餐式)
- 23(月) ヨガ教室
- 24(火) マリア会
- 25(水) 歯科診療
- 26(木) やまびこ会
- 27(金) 町議会議員選挙不在者投票
- 29(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 30(月) ヨガ教室
- 3(木) やまびこ会
- 6(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 7(月) ヨガ教室

編集者から

2016年度の都道府県別の健康寿命が発表されました。全国平均は男性72.14歳、女性74.79歳でした。平均寿命との差から9～12年間は医療・介護が必要で日常生活に支障がある状態で過ごす可能性があるという結果です。気になる和歌山県は男性が71.36歳(43位)、女性が74.42歳(37位)でした。思いのほか健康寿命が低いことに驚き、つい「後〇年しかない…」と呟いてしまいました。

若い時から健康寿命を延ばす努力は大切ですが、たとえ医療や介護が必要になったとしても、「自分のことは自分で決める」、或いは「自分の意思を予め示しておくこと」によって生活の質・人生の質を豊かに保つことができます。入居者の皆さんの生活がこうして豊かなものとなるよう支援していきます。(A)